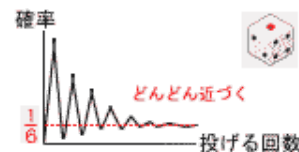


- 実験や観察を繰り返すとき,
ある事からの起こる相対度数が p に近づく → 「確率は p 」である
- ★ さいころで1の目が出る
→ 回数が多いほど, 相対度数がどんどん $\frac{1}{6}$ に近づく
- でき事を確率で表す(数値で表し, 見えるようにする)



印刷して、紙の上でやってネ！

1	<p>コインを投げる実験を繰り返し, 表が出た回数をまとめました。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>投げた回数</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>400</td> <td>500</td> <td>1000</td> <td>10000</td> </tr> <tr> <td>表の回数</td> <td>43</td> <td>88</td> <td>135</td> <td>204</td> <td>260</td> <td>520</td> <td>5000</td> </tr> <tr> <td>相対度数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	投げた回数	100	200	300	400	500	1000	10000	表の回数	43	88	135	204	260	520	5000	相対度数								2	<p>画びょうを投げたとき, 上向きにな るのはどれくらい起こるのか, 確かめてみました。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>実験回数</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>400</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>上向き</td> <td>59</td> <td>108</td> <td></td> <td></td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>相対度数</td> <td>0.59</td> <td></td> <td>0.52</td> <td>0.55</td> <td></td> </tr> </table>	実験回数	100	200	300	400	500	上向き	59	108			270	相対度数	0.59		0.52	0.55	
投げた回数	100	200	300	400	500	1000	10000																																						
表の回数	43	88	135	204	260	520	5000																																						
相対度数																																													
実験回数	100	200	300	400	500																																								
上向き	59	108			270																																								
相対度数	0.59		0.52	0.55																																									
(1)	相対度数を小数で記入しなさい。	(1)	表の空欄を埋めなさい。																																										
(2)	実験結果から, 表が出る確率を推定しなさい。	(2)	このことから, 1000回投げると上向きになるのは何回と予想されますか, 求めなさい。																																										

3	<p>5本中1本当たりのくじを, コンピュータシミュレーションで引き, 当たり回数をまとめました。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>引いた回数</td> <td>100</td> <td>500</td> <td>1000</td> <td>2000</td> <td>3000</td> <td>4000</td> <td>5000</td> </tr> <tr> <td>当たりの回数</td> <td>24</td> <td>102</td> <td>187</td> <td>381</td> <td>585</td> <td>784</td> <td>1002</td> </tr> <tr> <td>相対度数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	引いた回数	100	500	1000	2000	3000	4000	5000	当たりの回数	24	102	187	381	585	784	1002	相対度数								4	<p>さいころを投げて, 6の目が出た回数を記録しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>投げた回数</td> <td>200</td> <td>400</td> <td>600</td> <td>800</td> <td>1000</td> <td>1200</td> </tr> <tr> <td>6の回数</td> <td>38</td> <td>56</td> <td>108</td> <td>120</td> <td>170</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>相対度数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	投げた回数	200	400	600	800	1000	1200	6の回数	38	56	108	120	170	204	相対度数						
引いた回数	100	500	1000	2000	3000	4000	5000																																									
当たりの回数	24	102	187	381	585	784	1002																																									
相対度数																																																
投げた回数	200	400	600	800	1000	1200																																										
6の回数	38	56	108	120	170	204																																										
相対度数																																																
(1)	相対度数を小数で記入しなさい。	(1)	相対度数を小数で記入しなさい。																																													
(2)	実験結果から, 当たりが出る確率を推定しなさい。	(2)	相対度数を折れ線グラフで表しなさい。																																													